

令和3年度第2回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 令和3年度第2回木更津市史編集委員会
2. 開催日時 令和3年8月12日（木）午後3時10分～4時00分
3. 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室 A1・A2
4. 出席者 市史編集委員会委員 出席9名
谷畑美帆委員、石和田秀幸委員、川戸貴史委員、實形裕介委員、
大関真由美委員、駒早苗委員、成田篤彦委員、岩埜伸二委員、篠田貞明委員
教育委員会事務局7名
廣部昌弘教育長、秋元淳教育部長、平野義視教育部次長、小高幸男文化課長、
青柳英明係長、坂口孝輔主任主事、矢野茜事務員
5. 議題及び公開又は非公開の別
議題1 委員長、副委員長の選出について（公開）
議題2 木更津市史編集部会設置要綱の改正について（公開）
報告1 令和3年度実施予定事業（公開）
報告2 木更津市史編集部会について（公開）
6. 傍聴人 なし

事務局（小高文化課長）

ただいまから、令和3年度第2回木更津市史編集委員会を開会いたします。
よろしく願いいたします。

なお、川戸委員はリモートでの参加となります。

また、島立委員は欠席でございます。

会議につきましては、附属機関設置条例第6条第2項の規定により、成立
しております。会議は公開で行いますのでご了承ください。

はじめに、廣部教育長よりご挨拶申し上げます。

廣部教育長

教育長の廣部でございます。

各委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして誠に
ありがとうございます。

先ほどの会議に先立ちまして、委嘱状交付式を執り行わせていただき
ました。これまで大変ご尽力いただきました、杉山林継委員、池田忍委員が、
この度ご退任して、大関真由美委員、駒早苗委員に新しく加わっていただき
ました。

これまでのご経験を活かされて、お力添えいただきますよう、改めてお願
い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、現在、緊急事態宣言が発出され、予断を許さない状況でございますが、感染リスク対策を十分に考慮しまして、木更津市史編集委員会を運営して参る所存でございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

私も、木更津で生まれ育ちました。この木更津市史が新しくなることにつきましては、私自身、中学校の社会科の教員として、38年間勤めて参りましたので、非常に興味深い、重要な事業であると認識しております。

委員の皆様方におかれましては、お仕事を持ちながら、現在、コロナもございますので大変なご負担になろうかと思いますが、何卒、木更津市史が素晴らしいものになりますように、お力添えいただければと思います。よろしく申し上げます。

事務局（小高文化課長）

続きまして、就任された委員皆様よりお1人ずつ自己紹介をお願いいたします。

出席者名簿順に従い、はじめに谷畑委員からお願いいたします。

（各委員自己紹介）

事務局（小高文化課長）

ありがとうございました。続きまして、事務局職員より自己紹介申し上げます。

（事務局自己紹介）

事務局（小高文化課長）

それでは会議に入ります。会議の前に、資料確認をさせていただきます。

事務局（青柳係長）

令和3年度第2回木更津市史編集委員会次第に沿って会議を進めさせていただきます。お手元の資料の1ページ目に議題1、2ページ目に議題2、3、4ページが報告事項となっております。

よろしく申し上げます。

事務局（青柳係長）

それでは議事に入ります。

議長は委員長が務めることとなっておりますが、これまでの市史編集委員会は、令和3年6月30日をもって任期が終了しております。

したがいまして、委員長、副委員長を改めてご選出いただく必要がございます。

委員長、副委員長が選出されるまでの間、議事の進行を秋元教育部長が務めさせていただくことといたしたいのですが、よろしければ挙手をお願いいたします。

(挙手確認)

事務局（青柳係長）

ありがとうございます。

挙手全員ですので、秋元教育部長に議事の進行をお願いいたします。

秋元教育部長 教育部長の秋元でございます。委員長、副委員長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。

委員長ならびに副委員長の選出について、事務局より説明願います。

事務局（青柳係長）

資料の1ページをご確認ください。

附属機関設置条例第4条の規定により、委員長及び副委員長の選出は、委員の互選とされております。

そこで、委員長1名、副委員長1名の選出をお願いするものでございます。

互選につきまして、本委員会を円滑に進行するため、あらかじめ各委員へ委員長、副委員長の互選について、事前に書面にて通知させていただき、回答をいただきました。

回答の結果、成田委員に委員長を實形委員に副委員長お願いしたいと存じます。

秋元教育部長 事務局より説明がございましたが、いかかでしょうか。

秋元教育部長 それでは、意見はないようですので、ご承認される方は挙手をお願いいたします。

(挙手確認)

秋元教育部長 挙手の数は、本日の出席者全員ですので、委員長を成田篤彦委員、副委員長を實形裕介委員をお願いいたしたいと存じます。

秋元教育部長 委員長、副委員長選出の案件につきましては、決定いたしましたので、仮議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

事務局（青柳係長）

それでは、委員長、副委員長が決定いたしましたので、代表して成田委員長よりご挨拶を賜りたいと存じます。

成田委員長 成田でございます。委員長をお引き受けいたします。任期は、お話がありましたとおり、再来年6月30日までの2年間です。

實形副委員長と共によろしくお願いいたします。

さて、市史編集委員会が編集に取り組んでから6年を経過し、皆様のご協力により、各部会では、具体的な資料のデータ等が蓄積されてきております。

また、史料編の古代編が来年、自然編の資料編が再来年にデジタル媒体

による発行が予定されております。

コロナの流行は当分とどまりそうもありませんので、今まで経験しなかった困難なこともたくさん出てくるのではないかと予想しております。

しかし、せっかくここまで事業を継続して来たのですから、無理はいけないと思いますが、今やれることをしっかり行って、さらに事業を継続し、デジタル出版の利点を生かして、出来るだけ当初の予定どおり、内容のある市史編集が出来るようにご協力をお願いいたします。

事務局（青柳係長）

ありがとうございました。それではこれからの議事進行を、成田委員長にお願いいたします。

成田委員長

これより、議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

本日の次第に沿って進めますが、次の議題の「木更津市史編集部会設置要綱の改正について」事務局の説明をお願いします。

事務局（青柳係長）

資料の2ページをご覧ください。

この一部改正につきましては、木更津市史編集部会設置要綱の題名中「編集を「編さん」に改めるものがございます。

改正理由といたしましては、本「木更津市史編集委員会」と、市史に係る調査研究を行っている「木更津市史編集部会」の名称が区別しにくいとのご意見を頂いておりましたので、改めるものがございます。

成田委員長

事務局から説明がありました。何かご質問ありますでしょうか。

成田委員長

それでは、意見はないようですので、今回の改正についてご承認される方は挙手をお願いいたします。

（挙手確認）

成田委員長

挙手の数は、本日の出席者全員ですので承認されました。

事務局は対応をお願いします。

事務局（青柳係長）

承知しました。

成田委員長

本日の議題は以上です。

次に、報告事項に入ります。報告事項について、事務局から報告をお願いします。

事務局（矢野事務員）

報告事項を説明させていただきます。

まず、令和3年度の実施予定事業といたしまして、一つ目に、木更津市史編さん事業公開講座の動画配信を行います。

題名が「化石の宝庫・木更津の大地」で木更津市史編集部会の自然部会の篠崎氏が講演いたします。

配信時期は、8月16日の月曜日から木更津プロモーションチャンネルで公開予定となっております。

2つ目に、(仮称)写真で見る木更津の歴史写真展及び講演会を11月下旬に予定しています。場所は中央公民館の多目的ホールで実施いたします。

3つ目に、『木更津市史編さんだより』第6号を11月に発行いたします。

4つ目に、『木更津市史研究』第5号を3月末ごろ発行いたします。

最後に、7月1日時点での木更津市史編集部会の委員数についてでございますが、部会長が8名、部会員が49名、調査員が8名の合計64名で活動しております。

報告は以上です。

成田委員長 ただいま、事務局から報告いただきました。

このことについて、質問がありましたらお願いいたします。

成田委員長 まず、私の方から確認です。『市史編さんだより』と、『市史研究』はデジタル媒体による発行で、紙ベースではないということによろしいでしょうか。

事務局（小高文化課長）

今の質問ですけれども、昨年度の編集委員会の中で、今後の発行物の取り扱いについて、デジタル媒体での発行ということで説明をさせていただきました。

それに伴いまして、『木更津市史研究』については、デジタル媒体で発行します。『編さんだより』については、市の印刷機器で印刷が出来るので、紙で発行いたします。

ただ、例年どおり編さんだよりについては、市のホームページにもPDFで公表しておりますので、こちらについては併用という扱いになります。

岩笠委員 『市史研究』は、金のすずで販売しておりますが、すべてデジタル媒体での販売ということによろしいでしょうか。

事務局（小高文化課長）

今年度以降のものについては、基本CDまたDVDで発行する予定です。一般への配布についても、CDまたDVDで配布する予定です。

成田委員長 よろしいでしょうか。

その他、質問等ございますか。

實形委員 確認ですけれども、この予定事業の(仮称)写真で見る木更津の歴史写真展及び講演会について、具体的に講師は決まっているのでしょうか。

成田委員長 事務局お願いします。

事務局（青柳係長）

この講演会につきましては、木更津市史編集部会の近現代部会の栗原氏に講師をお願いしている状況でございます。

成田委員長 ありがとうございます。

他にございますか。

成田委員長 なければ、最後に、その他として全体を通してご意見・確認事項等がありましたらお願いいたします。

駒委員 現在、コロナで市史の発行が予定より遅れていると思いますが、現在の状況についてわかりましたら教えていただければと思います。

成田委員長 現在の状況について、事務局お願いします。

事務局（小高文化課長）

現在の進捗状況につきましては、昨年度末の段階で各部会長から調査進捗の状況報告をいただいております。

本日は用意しておりませんが、市のホームページでも会議録等に公開しておりますので、そちらでも見ることは出来るんですが、状況といたしましては、おっしゃるとおり、コロナウイルスの関係で昨年度は外での調査を一定の期間制限しております。

特に大きく遅れているのが、前回報告いたしました民俗部会の調査でございます。こちらは、やはり調査方法が聞き取り調査がメインとなっておりますので、こちらについては、ほぼ出来なかった状況です。

それ以外の部会についても、遅れているとは伺っておりますが、それでも、これまで外で調査していた成果をデータ整理等に充てていただくようにしていただいているので、それほど大きな遅れは出ていないと見込んでおります。

成田委員長 駒委員よろしいでしょうか。

駒委員 私が担当してる近現代も、聞き取り調査が滞ってるのと建物調査も含めて出来ていない状態です。今、出来ることと思ひまして、今までの調査の部分をみんなで手分けしてデータ化をしたりはしておりますが、どうしてもこれがいつまで続くのかという問題もありますけれども、地域的に遅れているところもあります。

調査に伺いたいという約束も出来ないのも、近現代としては非常に困っています。

多分、予定どおりというのは、民俗も近現代も難しいというのが現状です。

成田委員長 私の方からよろしいでしょうか。今、駒委員がお話になったことは、おそらく民俗の方でも、それから近現代でも困ってると思います。

多分、部会長におかれても皆さんが困ってるんじゃないかと思います。
コロナ禍の中で、とても難しいんでしょうけれども、部会長会議をこの
辺りで一度開いていただくのはどうでしょうか。

部会長は責任重いですから、かなり負担になってると感じますし、お互
いの悩みとかを情報交換することによって、解決するような事が出てくる
と思います。

事務局の方は何か考えておられますでしょうか。

事務局（小高文化課長）

部会長会議につきましては、以前開催しておりますが、編集委員会の要
請に応じて実施することができますので、今これをもって要請をいただい
たということであれば、事務局の方で調整を図りまして、部会長会議を開
催したいと思います。

また、その時には編集委員の皆様にも同席していただくことができます。
コロナのこともあるので、大勢で集まるのは難しいかと思いますが、リ
モートなどを活用しながら会議を開催したいと思います。

日程につきましては、調整した上で改めてご報告させていただきます。

成田委員長

事務局の方から話がありましたが、皆さんのご意見はいかがですか。

岩笠委員

令和4年度、来年度の当初予算ベースでどういったものを予算に上げて
いくのか。刊行出来るのかどうかを示して根拠にしないと予算要求出来な
いものと思うんですが、その辺はどうでしょうか。

事務局（小高文化課長）

刊行計画に基づいていきますと、来年度は史料編の古代編を刊行予定と
なっております。古代部会とは、今月末に打ち合わせを行うことになって
おります。それを踏まえた上で、来年度の刊行計画を詰めていきたいと思っ
ております。

編集委員会の石和田委員も古代部会に所属しておりますので、状況等、
詳しいことについては、よろしければ、石和田委員からご報告いただけれ
ばと思います。

成田委員長

石和田委員よろしいでしょうか。

石和田委員

古代部会は、1ヶ月に1回必ず会議を行っております。

河名部会長は、予定どおりに発行するつもりで進めております。

細かいところでは、編集の中で他の時代と同じような編集方針に本当に
なってるのかどうか、よくわからないところがあります。

それを部会長が集まっていたいて、統一したものになるように、第1
回目の史料を出す前に行っていかなければいけないと認識しております。

8月末に事務局と相談をして、意思疎通をしっかりと出来ればと思います。

成田委員長 ありがとうございます。話を前に戻しまして、部会長会議を編集委員会として要望するというのでよろしいかどうか確認します。

ただ、予算の関係とかいろいろ時期もあるでしょうから、中々難しいけれども何かご意見ございますか。

成田委員長 反対意見がなければ要請ということにしますが、よろしいですか。事務局は対応をお願いいたします。

いつ頃になる予定ですか。

事務局（青柳係長）

日程につきましては、事務局の方で調整させていただき、改めてご連絡させていただきます。

成田委員長 他に何かありますでしょうか。

谷畑委員 確認させてください。資料の最後のページに、新任で入られた大関真由美さんの名前が載っていませんが、近世部会に入られるということでしょうか。

事務局（小高文化課長）

大関委員が千葉市史も編さんされているということで、この編集委員会の方に、まずはご協力いただきたいということでお願いしております。

大関委員が部会の方でも資料調査などにご協力いただけるようであれば、別途お願いしたいと思います。

部会については、相談させていただきたいと思います。

こちらの名簿につきましては、あくまでも資料調査を行う編集部会のメンバーになっております。この編集委員会とは別となっておりますので、ご理解いただきたいと思います。

成田委員長 ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。

成田委員長 他に質問等がなければ、本日の議事は以上で終了いたします。

それでは議長の職を解かせていただきます。

本日はご協力ありがとうございました。

事務局（青柳係長）

成田委員長、議事進行ありがとうございました。

以上を持ちまして、第2回木更津市史編集委員会を終了いたします。

なお、次回の市史編集委員会は、日程が決まり次第お知らせいたします。

本日は、ありがとうございました。

令和3年8月12日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 成田 篤彦